

序 文

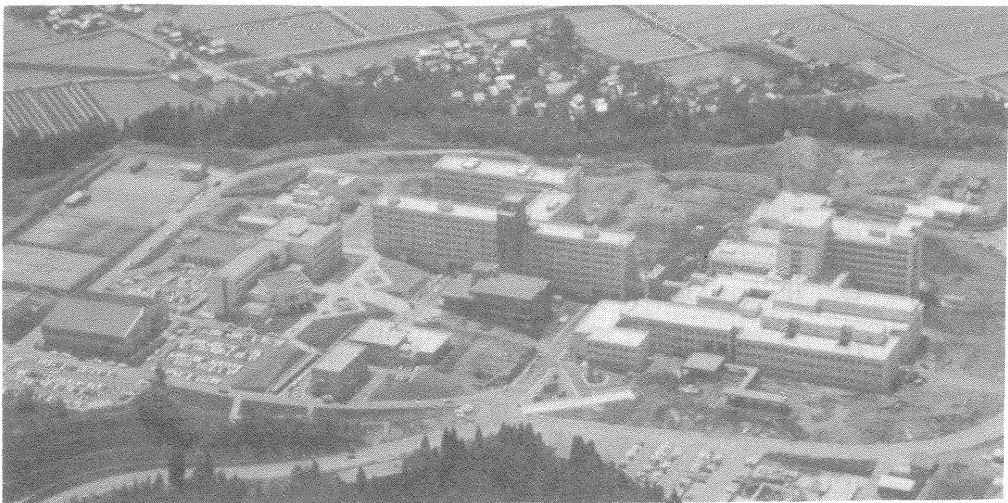
富山医科薬科大学が開学したのは昭和50年10月のことであり、第1回生が入学したのは51年4月で、今年で3年を経過しました。本学創設の理念はその名の如く、医学、薬学を総合した教育研究に新機軸を拓かんとするもので、他に見られない特色を有するものであります。例えば研究施設についても約1,000㎡の共同研究棟を建てたのも、その現れであり、又幸いにして、薬学部においては昭和53年度博士課程大学院が発足し、これには薬学部、和漢薬研究所教官はいうに及ばず、医学部教官も協力教官として加わって、本学の理念を具現することとなったことは喜びに堪えない。

又、これに伴い薬学部では、従来の薬学科、製薬化学科の2学科制を廃し、しかも従来の14小講座制を組織替えして、6大講座制をとることとした。今年度の教官各位の研究活動一覧もまた、これに従って分類されている。

医学部においても、近い将来、大学院が発足することになっているが、創設期の悪条件にも不拘、優れた業績があげられていることは、欣快にたえないところであり、教官各位の御健闘に対し心から敬意を表するとともに、今後一層の御研鑽を期待するものであります。

昭和54年3月

学 長 平 松 博



■ 編集委員

荻 田 善 一

北 川 正 信

小 泉 徹

白 井 進

辻 陽 雄

永 田 正 典